

# 株式会社フィスコ 事業のご報告

## 第14期（平成19年1月1日-12月31日）



株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社第14期事業年度（平成19年1月1日～12月31日）が終了いたしましたので、当期における当社の事業概況と翌期の事業計画概要についてご報告申し上げます。

また、平成20年3月25日には第14回定時株主総会を開催し、招集ご通知にてご案内のとおり、報告及び決議を下記のように行いました。

### 報告事項

「第14期（平成19年1月1日から平成19年12月31日まで）事業報告、計算書類及び連結計算書類ならびに会計監査人及び監査役会の連結計算書類監査結果報告の件」

### 決議事項

第1号議案『取締役8名選任の件』 原案どおり承認可決されました。  
 第2号議案『監査役1名選任の件』 原案どおり承認可決されました。  
 第3号議案『補欠監査役1名選任の件』 原案どおり承認可決されました。

第15期もすでに開始しており、株主様をはじめ弊社関係者の皆様のご期待にそえるよう、事業成長・企業価値向上に全力を傾注いたして努めてまいります所存でございます。

株主の皆様におかれましては、引き続きご支援のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

株式会社フィスコ 代表取締役 三木 茂

## 14期 事業ハイライト

（連結）

売上高	1,083,165千円
営業損失	166,492千円
経常損失	196,702千円
当期純損失	76,324千円
資産合計	2,122,727千円
純資産合計	1,546,926千円

〔当社のサービスを  
ご利用いただいているお客様〕

### ◆フィスコ

法人のお客様：約300社

#### ・証券会社

145社（東証総合取引参加者の8割超）

#### ・銀行

38社（メガバンク全てを含む）

#### ・情報アウトソーサー

61社（ネット証券6社、FX10社、  
コモディティ9社、ポータル5社ほか）

個人のお客様：約62,000人

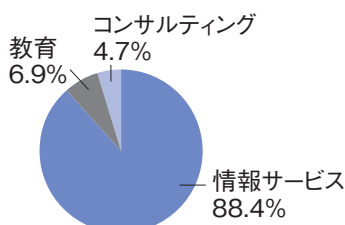
### ◆シグマベイスキャピタル

通信講座の年間受講者数：2,000人以上

### ◆エヌ・エヌ・エー

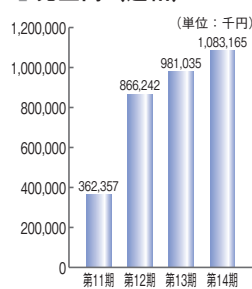
日系企業のお客様：約6,000社

〔セグメント別 事業構成比〕

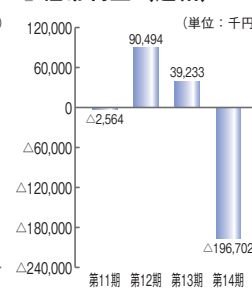


### 財務ハイライト

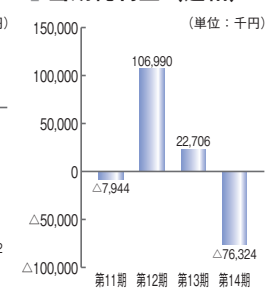
#### ■売上高（連結）



#### ■経常利益（連結）



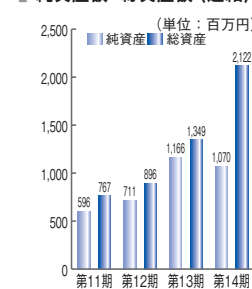
#### ■当期純利益（連結）



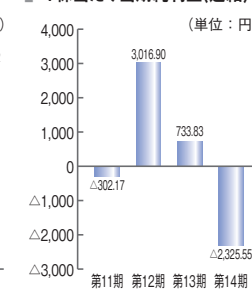
（注）第11期は、決算期変更により平成16年7月1日から平成16年12月31日までの6ヶ月間となっております。

### 主要経営指標

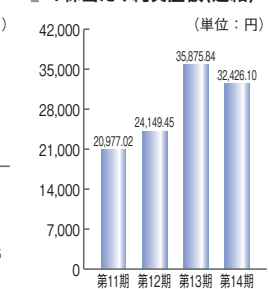
#### ■純資産額・総資産額（連結）



#### ■1株当たり当期純利益（連結）



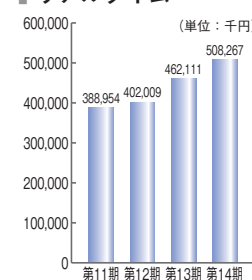
#### ■1株当たり純資産額（連結）



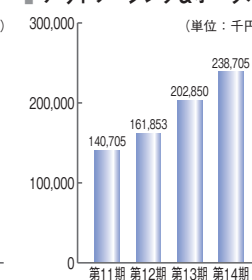
（注）1. 第11期は、決算期変更により平成16年7月1日から平成16年12月31日までの6ヶ月間となっております。  
 2. 純資産には、過去との比較のため、少数株主持分及び新株予約権を含めておりません。

### 情報サービス事業における主要サービスの売上高推移

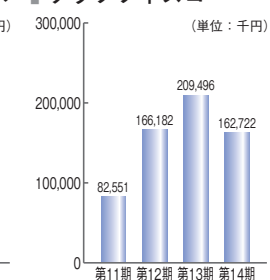
#### ■リアルタイム



#### ■アウトソーシング&ポータル



#### ■クラブフィスコ



（注）第11期は、決算期変更により6ヶ月となっておりますが、比較のため実績を単純倍額しております。



### Q 当期（第14期）の経営環境と業績についての総括をお聞かせください。

当期における経営環境は、米国サブプライム問題の深刻化など不安要因が顕在化し厳しいものでしたが、当社グループでは引き続き将来の成長に向けた全体の拡大戦略を着々と進めております。基幹業務の拡大を図る一方で、新たに株式会社フィナンシャルプラス及びシグマベイスキャピタル株式会社の2社を連結子会社とし、株式会社エヌ・エヌ・エーを持分法適用会社としました。さらに、連結子会社である株式会社フィスコアセットマネジメント（以下FAM）においては、伊藤忠商事株式会社との業務資本提携を行いました。

当期の売上高は、対前年同期比10.4%増の1,083,165千円でした。これは、情報サービス事業の増収及びシグマベイスキャピタル株式会社を中心とした教育事業の増収が主たる要因です。一方で、経常損失は196,702千円となりました。これはFAMにおける投資信託委託事業開始に伴う関連費用の発生、将来の事業拡大に向けた人員増加、ECサイト拡充の為のシステム維持強化、上記新規連結子会社2社増加に伴う影響等の費用負担増加によります。当期純損失は76,324千円となりました。伊藤忠商事株式会社によるFAMへの第三者割当増資などにより、持分変動損益42,256千円、少数株主損失70,828千円を計上したことが、経常損失に対しプラスに作用しました。

### Q 当期（第14期）においてグループに加わった各社について、そのねらいと将来像についてどのように考えていますか？

シグマベイスキャピタル社は、金融機関向け教育事業のトップブランドです。同社が加わることで、当社グループの教育事業の成長と収益性向上を実現します。また、同社独自の専門性の高いサービス開発能力を活かし、金融関連に特化した教育事業分野における競争優位性を確立します。

フィナンシャルプラス社は投資助言事業を展開しており、有料情報を提供する企業として、個人投資家を中心とした顧客基盤を保有しています。同社が加わることで、当社グループの個人向け情報配信事業の成長と収益性向上を実現します。また、同社のサービス運用システムを、当社新規サービスの開発に利用することで、予定開発コストの一部削減が見込めるなど、多面的なシナジー効果も期待しています。

エヌ・エヌ・エー社は、アジア・欧州の経済・ビジネス情報配信事業を展開しています。当社では、同社との提携を、成長目覚しいアセアン・中国経済圏に対する当社の中長期的戦略の一環として位置づけています。今後両社は、世界の主要な金融・ビジネス市場はもとより、新興国市場も網羅する独自のコンテンツサービスの開発と提供を目指します。

今後各社とはこれまで培ってきたそれぞれの顧客基盤、及びコンテンツ制作に関するノウハウを融合し、より付加価値の高いサービスを、経済性を高めて提供するとともに、各社の収益のさらなる拡大を目指します。

## 新グループ会社の紹介

フィスコグループとは、最良の投資支援サービスの提供を目指す専門家集団です。

### シグマベイスキャピタル株式会社



銀行、証券会社、監査法人、官公庁などの職員を対象に、金融に特化した教育事業を展開。1990年の創業時から、先進的な金融商品開発やリスク管理など時代要請に応える専門性の高いカリキュラム開発力が評価され、金融プロフェッショナル向け教育のトップ企業として強固な顧客基盤を持つ。【連結子会社】

### 株式会社フィナンシャルプラス



独自のロジックを活用した株価自動予測サービス「LaQoo+（ラクープラス）」による投資支援事業を展開。個人投資家を対象に、全銘柄の動向予測と個別銘柄情報を提供。【連結子会社】

### 株式会社エヌ・エヌ・エー



アジア各国、オーストラリア、欧州など11ヶ国16拠点を結ぶメディアネットワークを実現。中核事業は現地経済・ビジネス情報の配信。日系企業約6,000社が利用。また、海外ビジネス書を中心とした出版事業、アジアでの調査・コンサルティング事業も行う。【持分法適用会社】

# ■ フィスコグループ中期事業計画 “Project2010” (第15期～第17期)



## 基本方針

独立系金融リサーチ事業者の日本におけるパイオニアとして、高い専門性を活かし「お客様の投資成果への貢献」を追求する中で、金融市場の発展、効率化に貢献して行きます。

## 重要施策

### 1) グループ力の結集

金融教育事業、個人投資家向けサービス、海外展開の各戦略部門の強化を図るべく実施した、シグマベイスキャピタル、フィナンシャルプラス両社の子会社化、エヌ・エヌ・エー社との業務資本提携を実りあるものとするべく、具体的なシナジーを実現します。

### 2) 安定的収益基盤の構築

証券市場の好不況に左右され難い収益体質とする為に、事業の多様化、顧客層の拡大に注力します。具体的には、リサーチ対象市場を海外に広げるとともに、コモディティ、デリバティブス、クレジットの各市場をカバーする体制を作ります。

### 3) 投信関連事業への進出

投資家、投信の販売業者、投信運用者それぞれのニーズに対応した情報サービスを開発し販売します。

### 4) 情報配信システムの機能拡充

当社が提供する情報の量、種類、配信先が増えていることから、システムの機能拡充と信頼性の向上を目的に、新たな配信システムを開発します。

**2010年のグループ目標**      売上高 2,740,000千円      経常利益 270,000千円

# ■ 2008年度 (第15期) の取り組みについて

## 情報サービス事業

**2008年の売上目標**      1,233,796千円 (前年比 +28.9%)

- 1) 提供情報のグローバル化 → エヌ・エヌ・エー社との共同事業として、アジアの新興市場を対象とした情報サービスを開始します。
- 2) 情報提供メディアの拡大 → 携帯電話の主要3キャリアを通じて、国内及び海外の株式・為替情報の提供を開始します。
- 3) 個人投資家向け事業の強化 → 楽天証券社との業務提携を踏まえて、国内の上場企業全銘柄に関する分析ツールを開発、提供します。

## コンサルティング事業

**2008年の売上目標**      202,420千円 (前年比 +300.1%)

- 1) 顧客層の拡大 → 地方金融機関の窓口販売支援ツールとして、国内及び海外の投資環境動向を定期的に伝える情報誌「RASHINBAN」を発行。金融機関と顧客を結ぶコミュニケーションツールとして提供します。
- 2) アセットマネジメント事業の拡大 → 伊藤忠商事グループとの業務資本提携のもと、ユニークかつ質の高い金融商品の開発を行います。
- 3) 調査・コンサルティングサービスの本格化 → 金融機関、官公庁を対象として、海外市場分析や運用モデル開発など、高付加価値サービスの提供を目指します。

## 教育事業

**2008年の売上目標**      254,757千円 (前年比 +238.5%)

- シグマベイスキャピタル社の事業拡大 → 金融プロフェッショナル教育のトップ企業としての実績をもとに、通信教育の拡販、受託研修先の拡大、専門科コースの新規開設を行います。

**2008年のグループ目標**      売上高合計 1,690,975千円 (前年比 +56.1%)

(注) この事業のご報告に記載されている将来の業績等に関する見通しにつきましては、リスクや不確定な要因を含んでおり、実際の業績はさまざまな要因により、これらの見通しとは異なる結果となりうることをご承知おきください。



## 株式の状況 平成19年12月31日現在

発行可能株式総数	100,000株
発行済株式の総数	33,394株
株主総数	2,521名

大株主（上位10名）	所有株式数（株）	発行済株式総数に対する所有株式数の割合（%）
株式会社 インデックス・ホールディングス	5,978	17.90
三木 茂	2,978	8.92
エーバックスグロービス ジャパンフアンドLP	2,512	7.52
株式会社 サンジ・ インターナショナル	1,876	5.62
楽天証券株式会社	1,200	3.59
朝田 英太郎	1,145	3.43
ロイター エスエー	1,100	3.29
荒川 忠秀	656	1.97
クリスティンキャピタル コーポレーション	640	1.92
国際株式会社	542	1.62

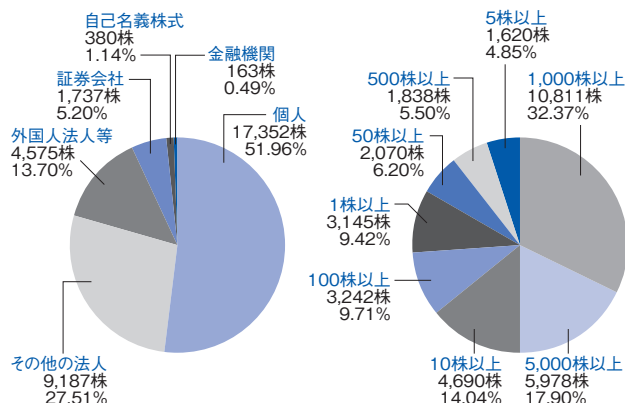
## 会社概要 平成19年12月31日現在

商号	株式会社フィスコ
本店	東京都千代田区九段北4丁目1番28号 九段ファーストプレイス7階
代表者	代表取締役 三木 茂
設立年月日	1995年5月15日
資本金	748百万円
決算期	12月

## 役員 平成19年12月31日現在

代表取締役社長	三木 茂
取締役	上中 淳行
取締役	倉都 康彦
取締役	八木田 和彦
取締役（社外）	荒川 忠秀
取締役（社外）	落合 正美
取締役（社外）	田野 好彦
常勤監査役	麻生 修平
監査役	後出 大雄
監査役	藤井 和雄

## 株式分布状況



## 株主メモ

事業年度 1月1日から12月31日まで  
 期末配当基準日 12月31日  
 中間配当基準日 6月30日  
 定時株主総会 毎年3月  
 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社  
 同連絡先 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号  
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
 TEL：0120-232-711（通話料無料）  
 同取次所 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店  
 上場証券取引所 大阪証券取引所ヘラクレス  
 公告方法 電子公告により行います。  
 公告掲載URL  
<http://www.fisco.co.jp/notification/index.html>  
 （ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に掲載いたします。）

### 利益配分について

当社は、株主に対する利益還元につきましては重要な経営課題と認識しており、安定的かつ継続的株主還元を実施していく方針であります。平成19年12月期は当期純損失を計上したことから、誠に遺憾ながら無配とさせていただきますが、中期事業計画の遂行により収益基盤の再構築を図り、早期に復配を実現できるよう尽力してまいります。

## IRサイトのご紹介

■当社は、金融商品取引法および証券取引所の定める「適時開示規則」に則り、全ての株主・投資家の皆様に対し、迅速で公平、かつ正確な情報開示に努めております。


■『新着情報』はRSS対応しています。

RSSリーダー（サイトの更新情報を自動的にチェックするソフトウェア）を使用いただくと、IR情報の更新を皆様のパソコン画面に自動配信します。弊社アナリストによるマーケットコメントも同時に配信できます。

■RSSリーダーのダウンロードはこちらから

1) コーポレートサイトのトップページを開く。

<http://www.fisco.co.jp/>（検索サイトでは、フィスコ で検索できます）

2) トピックス欄 RSSリーダー  をクリックする。

